

官社

三代實錄、貞觀二年六月九日戊子、能登國宿那彥神像石神列於官社、

鳳至郡九座 並小。

鳳至は不希志と訓べし、和名鈔、鳳至、假字上、如し式廿二、上、民部拾芥抄、國郡鳳至、○萬葉集十七卷に、天平廿年鳳至郡渡、饒石河之時、作歌云々、

鳳至比古神社

鳳至は郡名に同じ、比古は假字也、○祭神明か也、○輪島河井村に在す、今重藏神社と稱す、例祭 月 日、或云、村作吉明神、此殿信用がたし、

考證云、養和元年長谷部信連寄附銅瓶銘云、奉獻十藏權現御寶前、緣在輪島、而爲地主神、世人摘輪島與地主之字、習合十輪地藏、稱十藏、永仁四年棟札已下改、十作重、然而察此名之所據、則爲一郡地主鳳至比古神社也自明矣、文明八年重藏社祀曰、氣多分身、鳳至一郡總社也、

石瀨比古神社

石瀨は伊波世と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也、神社帳云、石城別命、○道下村に在す、神社例祭

神杉伊豆牟比咩神社

神杉統調は加武須岐乃と訓べし、伊豆牟比咩は假字也、○祭神明か也、神社帳云、大己貴命、三種津姫命、○中居村に在す、今六所明神と稱す、例祭

石倉比古神社

石倉は伊波久良と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也、神社帳云、天、○時國村に在す、例祭

類社

大和國高市郡巨勢山坐石椽孫神社の條見合すべし

美麻奈比古神社

美麻奈比咩神社

美麻奈比古比咩は假字也、○祭神明か也、今相殿に、○穴水川島村に在す、神社例祭 月 日、○姓氏錄 未定種、三間名公、彌麻奈國主牟留知王之後者不見、初御間城入彥五十瓊殖天皇神代卷、御世、額有角人乘、船泊于越國筒飯浦、遣人問曰何國人也、對曰意富加羅國王字名都努我阿羅斯等、亦阿利此智于岐、傳聞日本國有聖皇歸化、到于穴門、有人名伊都々比古、謂臣曰、吾是國王也、除吾復無二王、勿往他處、臣察其爲人知非王也、即更還、不知道路、留連島浦、北廻經出雲國、至此國也、是時會天皇崩、便留仕、活目入彥五十狹茅天皇、論聖詔曰、汝速來者得仕先皇、是以改汝本國名、退負御間城皇號曰彌麻奈、因給絹即還本郷、是改國號之緣也、

神目伊豆伎比古神社

神目統調は加武乃女乃と訓べし、伊豆伎比古は假字也、○祭神明か也、神社帳云、迦、爾米雷王、○在所分明ならず、神社帳云、神波村、また、階橋村、孰れ正しき歟、